

## 第7回新城市福祉従事者支援施策推進会議会議録

日 時 令和4年11月17日（木）午後6時～午後7時30分

場 所 災害対策本部室3

（座長、あいさつ）

12月18日まで、あと1カ月しかないというところになった。細かく相談して行って、とにかく当日が無事に迎えられるように、それから、いろんな方に来てもらえるようにと思う。やっとチラシが届いたので、それぞれ周知をして行っていただきたいと思う。

このフェスをやるときは、特定の人だけではなくて、ちょっとでも関心があったりいろんな接点がある人には、どなたでも来ていただきたい。

それから、いろんなことを少しでも見たり感じたりしていただきたいというのが、スタートだったと思うので、いろんな方に来ていただきたい。そしてちょっとずつ触れ合っていただきたい。そこを大事に進めていきたいと思うのでよろしくお願いします。

### 1 各チームの状況について

#### （1）魅力発信チーム

（事務局）第5回の実行委員会を11月10日に開いた。写真展の写真が167枚集まった。今後、写真をどのように展示していくかや、展示室でのパネルの配置などを協議して決めた。あと、展示室の中の相談コーナーは、包括支援センターにお願いをすることになっている。その相談コーナーをどうするかということは今、包括と打ち合わせをしている。

11月28日に第6回目の実行委員を予定しているが、そこでは写真をB紙に貼っていくなどの作業を予定している。

あと、福祉条例のパネル展示について、皆さんにどんな感じかイメージしていただこうと思い持ってきた。文字がとても細かいので、半分にして拡大コピーし、2枚並べて条例をPRしようと思っている。

（委員）展示室内の動線を考え、カタカナの“コ”の字にパネルを配置することとした。写真は、あまり上を見たり下をみたりしないよう貼る。展示室内、密にならないように、また、換気について配慮する。いろんな所から入ってきた方が、どこへ行っていいのかわかるように案内看板の設置を検討しなくてはいけないという話も出た。

#### （2）連携推進チーム

（事務局）11月10日、実行委員会を行った。國信氏から、市長マニフェストから円卓会議、そしてこの福祉フェスまでの積み上げの中で、この研修をどう位置づけるのかわかるようにしてほしいという話があったため、職員の合同研修が初めの一步事業として上がっているというところをパワーポイントで映し出して説明する。そこから先生の紹介、講演に入っていただこうと思っている。

また、誰に何を伝えたいのかということについては、福祉従事者や、その周辺の方に対し、今後の日本全体がどうなっていくのかとか、国の財源も厳しくサービスをつくれないうちで、地域の中で皆さんが

決めていく時代に今来ている。地域の中には、福祉従事者もボランティアも民生委員もいて、いろんな得意を持っていて、そういう福祉に括られない話を聞くことで、制度だけでは解決できないたくさんの人を、地域の連携の中でその人を支えていくという経験が、それぞれの原体験になっていくということ伝えていく。

新城市の取り組みについても話をしたいと言われたので、新城市の現状や今後どのような取組をしていきたいという話を市で行う。その後地域の活動紹介として、3事例か4事例ぐらいを紹介していきたい。

地域活動の事例については、活動の様子が分かる写真を数枚と、1000文字程度で活動の紹介を作ってもらい、市職員が紹介をする。今、お願いしているのは、千郷のプレーパークという障害のある子たちも、地域の子たちも一緒になって、屋内のすべり台で一緒に遊んだという事例と、作手のしゃべり場と、八名マルシェさんの3つの事例をお願いしている。

國信氏の通常の講演が50分あり、新城市の取り組みと事例発表を30分発表した後、國信氏から取り組みへのコメントをいただき、その後10分くらい質疑応答として、今後國信氏と詰めていきたいと考えている。あと、福祉介護機器展について、光田屋げんき館さんとパナソニックさんと話をし、介護負担の軽減や、接触を減らすような介護機器、見守りロボットやICTを使ったようなものなどこれから先、向かっていくような介護機器の展示と体験コーナーについて打ち合わせを進めている。

### (3) 事業所支援チーム

キラリしんしろ福祉賞の募集を10月3日から31日まで行い、介護関係の事業所から5名、障害福祉の事業所から3名、児童福祉施設から8名の合計16名の応募があった。16名の方については、表彰者一覧の通り。

昨日、選考委員にお集まりいただき、選考委員会を開催した。規定では被表彰者の数は15名以内となっているが、16名の中から1名だけ除くことは非常に難しく、また、皆さん、素晴らしい方々で、思いが達成できるよう、今回初回ということもあるので全員表彰することとした。

また、次回に向けては、もう少し具体的な選考基準を設けて、選考委員が順位づけできるようなものを考えていくようにと、ご意見をいただいた。

次回の実行委員会については、11月29日を予定しておりまして、表彰式当日に被表彰者に行うインタビューや表彰状の文面、当日の役割等を決定し準備を進めていく。

### (4) 事務局

本日、チラシを100部ずつ配らせていただいた。このチラシは、新城市社会福祉協議会様のご厚意で印刷していただいた。心からお礼を言う。

その他、11月15日の広報ほのかに記事を掲載している。また、今後、市のFacebook、LINE、Twitter、Yahoo!に開催を知らせる投稿を考えている。また、ティーズでも12/7から12/14の間、開催の告知をする予定。当日もティーズが来る予定。

当日の駐車場について、新城文化会館、市役所砂利駐車場、市役所第2駐車場、蒲郡信用金庫、新城こども園、新城小学校の駐車場を利用することができた。スタッフは可能な範囲で乗り合わせで、新城こども園、新城小学校の駐車場にとめていただきたい。市役所職員は自分の駐車場にとめるように。駐車場係

として、文化会館と文化会館に入る交差点への配置を考えている。

#### フィナーレについて

(委員) フィナーレについて、昨日、有教館高校のボランティア部7人ぐらいが参加していただける。星の子合唱団の子供が6名ぐらい最前列でダンスをする。星の子合唱団と社協の合唱の方たちが舞台の一番裏手で、真ん中にキラリしんしろで受賞された方や、市長、座長、実行委員の方々を真ん中に挟む。あと舞台の下に、ほほえみ新城と、健康づくりリーダーの方が、ダンスを会場に向かって、少し誘導するような形を考えている。出席してくれる人たちは、打ち合わせができています。

歌詞を要約筆記のスクリーンに映し出せるのかなと思ってる。大ホールには反響板がない。反響板がないと声が前に伝わりにくいが、マイクをうまく使ってやろうと考えている。出演者は、講演会と表彰の間に会場に入る。きちんとしたセレモニー的な舞台なので、最後だけ盛り上がってしまうと変なので、うまく擦り合わせるように、これから詰めていかななくてはいけないと思ってる。

#### 質疑応答

(委員) 会場全体の案内について、どこが担当して作るか。

(事務局) 事務局でやるものと判断している。

(座長) 部屋の表示、例えば大ホールの入口に講演会場、表彰会場と表示するなど全館統一して行うことは考えているか。また、階段を上がったら何がある、といった表示をした方がいいと思う。

(委員) スタッフが常に立って案内するのが一番いい。床にテープで矢印を貼るのもいい。

(委員) 現在地やエレベーターの位置がわかる全体図がほしい。

(座長) 終わってからどれぐらいの人が来てくれたかを知りたい。

(事務局) 重複するが各ブースに代表者、責任者つけて、各ブースごとに人数を数えようと考えている。

(委員) 説明のあった駐車場の件について、改めてメール配信してほしい。あと、フィナーレについてイメージが伝わらないため、もう一度説明してほしい。

(事務局) メールを送ります。

(委員) スタッフは1時30分頃、104室105室に入る。表彰と講演会の幕間に会場に入り、表彰式と一緒に参加する。表彰が3時40分に終わり、そのまま壇上の方は残っていただき、合唱する人、ダンスをする人が階段で上がって、舞台の一番奥に合唱隊が並んで、その前に表彰を受けられた人たちや、市長、座長が、その前に立ってもらい、舞台の最前列に高校生と子供たちが並んでダンスをする。さらに舞台の下に、健康づくりリーダーさんたちとほほえみ新城さんたち30人ぐらいが、舞台の前に立って会場を見ながらリードする。みんなで盛り上げて、また来年お会いしましょうみたいな感じで終わったらどうかと考えている。歌詞は要約筆記のスクリーンに、会場の人たちに見えるように出そうと考えている。反響板はないので、歌はマイクで拾う。

(委員) 合唱、ダンスで何人ぐらいか。

(委員) 合唱が、星の子合唱団と社協で30人ぐらい、ダンスをするのは有教館高校の子供たちが7人と、星の子が6人ですから13人ぐらい。ダンスが親ツバメと子ツバメと分かれていて、高校生は親ツバメ、子

供たちは子ツバメ、関係者は子ツバメの予定。有教館高校の子たちがその様子をビデオに撮って、NHKに投稿することを考えているため、その様子を撮らして欲しいという話がある。

(委員) 音はカラオケか。

(委員) カラオケだが、主旋律が入ってないので、電子ピアノは入れたいと思っている。

(委員) 会場の音響を使ってやるのか。

(委員) その通り。

(委員) ダンスについて、例えばダウン症の人たちでとても得意な人達がいる。今から呼びかけて出るか分からないが、興味のある人がいるのではないかと思う。

(委員) キッズダンスにも声をかけようと思ったが、大勢になりすぎて收拾つかなくなるため身内でフィナーレをちょっと飾るぐらいで考えている。今から参加していただいても大歓迎。今、YouTubeを見ながら個別に練習してる段階。12月4日と11日に勤労青少年ホームの軽運動場で初めて合わせをやろうとしており、そこに誰が来てくれるかまだわからない状態なので、その時に参加していただければいい。大ホールのスペースは十分ある。

(委員) 今からどこまで広げられるか分からないが、そういう人がいたら参加していいか。

(委員) 大歓迎です。

(委員) 講演会について、トータル90分の中でクロストークやパネルディスカッションをするのは難しい。新城市で取り組んでいる3事例の話は、スクリーンに映して影でナレーションした方が見やすく聴きやすいのではないか。地域の取り組み事例に鳳来地区の事例がないので入れることはできないのか。

(事務局) 鳳来自治区の担当職員と話をしてみる。

(委員) フィナーレについて、関係者はどこからステージにあがるのか。

(委員) 表彰が始まるのに合わせて、舞台裏で待っていてもらって、下手から登場してもらえばいい。健康づくりリーダーやほほえみ新城は客席にいる。

(委員) 講演会の動員はしているのか。

(事務局) 特にしていない。職員を数名配置して、前の席に座るように誘導する。コロナ感染防止のため、ディスタンスを取って座ってもらう。

(委員) フィナーレについて、事業所に通っているダウン症の子にも案内していいか。年齢を問わず案内してもいいか。練習はいつあるのか。参加したい人はどこに連絡すればいいか。

(委員) 練習は12月4日(日)と12月11日(日)13時30分から勤労青少年ホームで行う。参加したい方は4日に練習に来てもらえばいい。

(委員) 表彰について、舞台をキラキラしたイメージのものにしたいといった意見があったが、前後の関係もあり、どこまでやっていいのか分からない。

(委員) 文化会館のプロジェクターは、スクリーンから近い位置からでも大きく写すことができる。スライドなどを流すだけでも、後ろの面が輝かしいものになるのではないか。

(委員) 受賞者にコメントをもらうのか。

(事務局) スクリーンで事業所と人物の紹介が終わった後に、インタビューをして 1 人ずつ紹介していくのがいいと昨日の選考委員会で意見をいただいた。実行委員会に持ち帰り、どのようにするかを検討したいと思う。

(委員) 映像は、舞台の一番後ろに写す予定か。

(事務局) 一番後ろです。

(委員) ツバメの歌詞を要約筆記のスクリーンに写そうと思っていたが、表彰のときに後ろに写すのなら、歌詞もそこに写したほうが大きく見栄えもいい。

(事務局) プロジェクターは、後ろいっぱい置いてても写し出せるものなのか。

(委員) 小ホールの際はスクリーンに近い位置に置き大きく写すことができた。

(事務局) 講演会の際に國信氏の PC と事例発表の PC は違うものであるため、プロジェクターが 2 台あったほうがいい。切り替える操作を誰かがしなくてはいけないため、舞台上にあるとちょっと格好が悪い。

(委員) PC を複数台つなげて切り替えれるプロジェクターがあるといい。

(事務局) そのようなプロジェクターがあるか確認する。

(委員) 即売会の準備は何時から可能か。

(事務局) 文化会館は 8 時 30 分から入れるが、その時間はまだ机、椅子は準備できていない。机・椅子の設置は事務局で行う。

(委員) 場所ごとの責任者を決めておいたほうがいい。

(委員) 当日、朝、集まり挨拶をしてから始めるのか、それとも何もなく準備に取り掛かるのか。

(事務局) 8 時 30 分にラウンジで挨拶してから始める。

(委員) ラウンジには誰が集まるのか。

(座長) 推進会議のメンバーだけ。8 時 30 分に集まる。

(事務局) 大ホール、ラウンジから大ホール、展示室は事務局で責任者を決めた。3 階はそれぞれのブースの代表に責任者になってもらう。

(委員) 各実行チームのなかでも、体制やタイムスケジュールを、そこまで詰めていない。

(座長) 当日、自分はどこにいて何をすればいいか分かっていたほうが、サッと動ける。次の実行委員会ではそれを最終的に確認する。

以上。